

真冬の干潟

■寒さに耐え春を待つ

2月8,9日に降った雪も溶け、蒲生干潟に入ることができた。冬鳥の姿も少なく干潟はひっそりとしていた。しかし、足下には生物の活動の痕跡が認められ水面下で春の訪れを待っていると思われる。



Fig.1 水面下の多毛類の巣穴



Fig.2 コメツキガニの巣穴

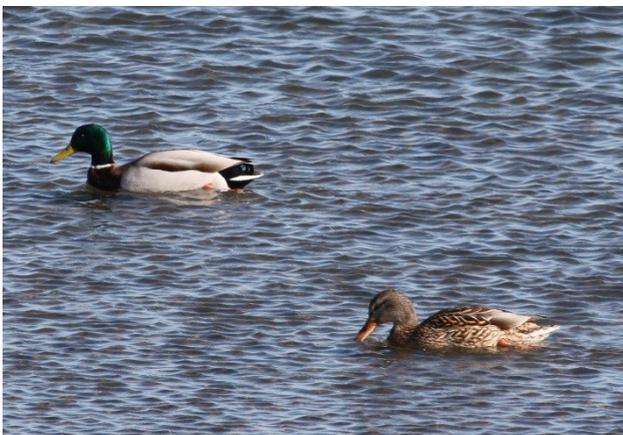


Fig.3 マガモ



Fig.4 トビ



Fig.5 ヒドリガモ(左2羽) オナガガモ(右2羽)